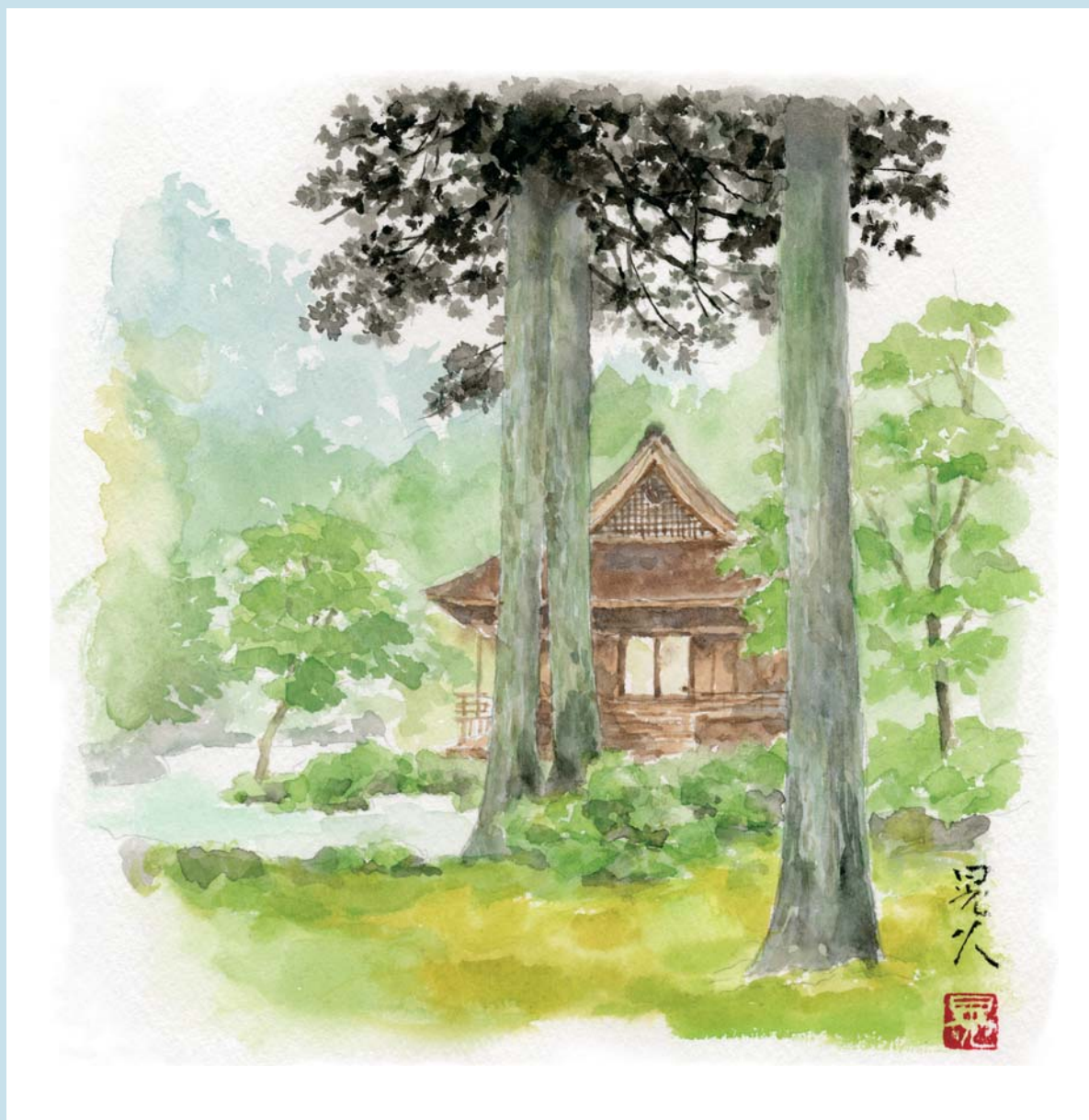


み や こ

京をまもる 2016

—安全のまち 京都をめざして—



京都市消防局

表紙絵「三千院 住生極楽院」・カット
日展会員・京都府立堂本印象美術館 館長

三輪晃久

目 次

御 挨 拶

京 都 市 長	門 川 大 作	1
京都市消防局長	杉 本 栄 一	2

巻頭特集

京都消防の現況 平成28年度消防局運営方針

京都市の概要	8
消防機関の配置	10
消防局の機構と事務分掌	12
消防予算の現況	15
消防団の現況	18
消防の広報・広聴活動	20

災害に強いまちとひとづくり

京都市の防災危機管理体制	22
自主防災組織の育成及び市民防災指導	31
市民防災センター	35

市民の安全を図る

住宅防火の推進と在宅避難困難者の安全	38
事業所の査察・防火管理・防災管理	40
文化財防火の推進	44
建築物の指導	48
消防用設備等の指導	50
危険物及び高圧ガス等の安全指導	52

災害から市民を守る

消 防 体 制	56
救 急 体 制	60
救 助 体 制	62
航 空 体 制	63
消防の通信施設	64
消防装備の配置・整備	68

明日の消防を築く

消防職員・団員と市民の防災の要	72
消防職員・団員の教育	74
消防の科学研究	76
消防音楽隊の活動	78

災害統計（指令・火災・救急・救助・自然災害）

受信・指令統計	80
火 災 統 計	81
救 急 統 計	90
救 助 統 計	94
自然災害統計	96

京都消防のあゆみ

昭和23年以降の火災件数の推移	98
年 表	99

御 挨 拶



本年4月、熊本県を震源とする最大震度7の地震が発生し、熊本県内を中心に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

この地震発生を受け、本市では「平成28年熊本地震京都市支援対策本部」をいち早く設置し、熊本市をはじめとする被災地との情報共有に努めてまいりました。そして本市から積極的に支援方法を提案するという形で、東日本大震災等の経験もいかしながら、あらゆる支援に全庁挙げて取り組んでいるところです。

複数の活断層の上に位置する京都市においても、いつ起こるか分からない大地震は決して「ひとごと」ではありません。また、近年、風水害をはじめとした自然災害が各地で頻発する中、どのような災害にも対応できる真の「防災力」を日頃から高めておく必要があります。そのために最も大切なことは、市民の皆様一人ひとりが防災を「自分ごと」「みんなごと」と捉え、地域の絆きずなを礎にまちの安心・安全を支えていくことです。

ここ京都には、「自分たちのまちは自分たちで守る」という崇高な自治の伝統が地域の消防団をはじめ、脈々と受け継がれており、市民の皆様と本市が知恵と力を結集すれば、揺るぎない防災力を築くことができるものと確信しています。

今後も、市民の皆様と志と行動を共にしながら、京都の誇る地域力、人間力を最大限に発揮し、災害に強く安心して住み続けられるまちづくりに全力を尽くしてまいります。皆様の変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

京都市長 門川 大作

御 挨 拶



昨年の火災件数は232件となり、3年連続で火災を減少させることができました。また、焼死者数は6人で、昭和39年以来の少ない数値となりました。今後も、消防職員・消防団員が一丸となって連続火災減少と焼死者ゼロの達成に取り組んでまいります。

昨年度は、長年、火災原因の第1位を占める放火火災を撲滅するため、11月に京都市火災予防条例の改正を行い、市民による放火対策の実践事項を規定しました。今年度は、「放火対策プロジェクト」を立ち上げ、市民・地域が主体となった放火されないまちづくりを全力で推進してまいります。

さて、本年4月には、熊本地方で震度7の地震が発生し、更に震度6を超える余震が続くなど、大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。

本市では、地震発生直後に航空小隊と陸上隊からなる緊急消防援助隊を熊本県に派遣し、人命検索活動等を実施しました。大地震に備えるためには、行政の対応力だけではなく、地域の防災力を向上させることが何よりも重要です。

そのため、本市では、昨年から自主防災会ごとの地域の実情に応じた防災行動マニュアルの策定に取り組んでおり、訓練を通じたマニュアルの検証、見直しに至るまで、継続的なサポートに努めております。また、地域防災の要である消防団の更なる充実強化を図りながら、若者や女性が入団しやすく、積極的に活躍できるよう引き続き取り組んでまいります。

今後も、あらゆる災害に的確果敢に立ち向かう「力強い消防」と、消防団や市民の皆様と共に防火防災に取り組む「地域密着型の消防」により、災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」の実現に、全力で取り組んでまいりますので、更なる御支援・御協力をお願い申し上げます。

京都市消防局長 杉本 栄一